

令和8年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	道の駅あらい 防災フェスティバル	事業経緯	継 続	実施体制	協 賛	担当所属	高田支所
事業名 (大項目)	地域づくり活動促進事業	分類名 (中項目)	地域連携・交流促進支援事業			事業区分	体験活動等

1. 事業目的

国道18号道の駅「あらい」は全国に1,200カ所あまりある「道の駅」の中で、103カ所の「重点道の駅」の一つに選定され、地域活性化の拠点づくりを進めることになっている。

本事業は、多くの市民がさまざまな形で参加する多様なプログラムを通じ、道の駅の役割等を再認識してもらうとともに、道の駅を核とした地域創生の機運を醸成し、市民交流の活性化を図ることを目的とする。

2. 事業実施体制

主 催：道の駅あらい・新井ハイウェイオアシス防災フェスティバル実行委員会
国土交通省高田河川国道事務所、東日本高速道路(株)上越管理事務所、妙高市、道の駅あらい出店者会、妙高ふるさと振興(株)

協 賛：(一社)北陸地域づくり協会

共 催：新潟県警察本部高速道路交通警察隊・交通機動隊、
陸上自衛隊高田駐屯地、自衛隊新潟地方協力本部高田地域事務所、
上越地域消防事務組合新井消防署

3. 事業実施概要

毎年6月初旬に開催していた「くびき野縁日」を、「道の駅あらい」が地域の防災拠点としての役割も担っていることから、令和7年より名称変更して実施。

日 程：令和8年6月6日(土)、7日(日)

場 所：道の駅「あらい」東エリア

実施内容：

- ・重点(防災)道の駅、国土交通省の事業に関するパネル展
- ・陸上自衛隊による炊き出し実演・実食
- ・はたらく車(災害対策機械等)の展示
- ・地震体験
- ・体験型コンテンツ
- ・地域FM生放送 など

参加者：のべ約4,000人

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

道の駅「あらい」は国道18号、上信越自動車道双方から出入り可能で、北陸管内でも有数の入り込み客数を誇る。本事業は、「あらい」が平成26年度に地域活性化の拠点として「重点道の駅」に、令和3年度には広域防災拠点として「防災道の駅」に選定されたことを広く周知し啓発するものである。

家族連れなど多くの方々にぎわう会場において、事業の紹介やはたらく車の展示を行うことで、ふだん関心が低いと思われる層にも、重点道の駅だけでなく社会資本整備の重要性をPRする機会となっている。



高所作業車



炊き出し



着ぐるみ
大集合